

葛中だより

令和6年3月22日(金)
葛城中学校だより
令和5年度3学期最終号

本日 終了式!!

明日から短い期間ですが、春休みです。

来月には1,2年生の皆さんはそれぞれ進級します。

懇談会で聞いた話や、自分自身で来年は頑張ろうと思うことを一つでもいいので、取り組んでみてください。

ほんの小さな取り組みが、やがて大きな結果につながると思います。

それぞれの学年で、新しい目標に向かって頑張る姿を期待しています。

次の文章は、77期生の卒業式でお話した「式辞」の一部です。読んでみてください。

.....
人生100年といわれる時代を迎え、今までの既存の知識や学力だけでは立ち行かない社会が君たちを待ち受けているかもしれません。

そんな中で「心こそが大切である」と、京セラの元会長、稲盛和夫さんが書き残した著書、「心を磨き、心を鍛えることの大切さ」というお話をしておきます。

本には次のように書かれています。

心を磨く6つの方法として

- ① 誰にも負けない努力をすること
不平不満を言う前に少しでも前進向上に努めること。
- ② 謙虚にして驕らず、人に対して、偉そうにしないこと
中国の古典に「謙は益を受く」という言葉があります。謙虚な心が幸福を呼び込みます。
- ③ 反省ある毎日を送ること
日々の自分の行動や心のありようを点検して、自分のことだけを考えていないか、卑怯なふるまいはないかなど、自省自戒して、改めるよう努めること。
- ④ 生きていること自体に感謝すること
どんな小さなことにも感謝する心を自分で育てること。
- ⑤ 他の人のために善い行い、利他行を積むこと
「積善の家に余慶あり」といわれるように、善を行い、他を利する、思いやりある言動を心がける。そのような善行を積んだ人には良い報いがあります。

- ⑥ くよくよと感性的な悩み方をいつまでもしないこと
いつまでも不平不満を言ったり、仕方のないような心配にとらわれたり、くよくよと悩んでいてはいけません。そのためにも、後悔をしないくらい、全身全霊を傾けて取り組むことが大切です。

以上の6つのポイント、「努力」「謙虚さ」「自己反省」「感謝」「利他の精神」「前向きさ」
稲盛さんは毎日欠かさず、6つのことを考え続けて心を磨き、「自分の能力」を開花させ、世界的な会社を作りました。

皆さんは、最近までは受験勉強のために、学力を高めることにのみ意識が大きく向いていたことでしょう。それも大切なことです。

しかしながら、これからの時代を生ききるためには、「知識の蓄積と同時に、心を磨き、徳を積むこと」がさらに重要になると私は考えます。

著書の、3番目「自己反省」と5番目「利他の精神」、そして6番目の「前向きさ」は、先ほどの話のおじいさんのように、冷静に物事を判断するための「心磨き」に、特に必要なことではないでしょうか。

素晴らしい人生、幸福な人生、平和な人生を願うならば、今話した、6つのことを考えて、行動してみてくださいはどうか。

「陰徳あれば陽報あり」という言葉もあります。

陰の地道な努力によって「徳」を積み、必ず自らに良い果報が訪れるという意味です。

卒業生の皆さん、それぞれの個性を「桜梅桃李」の視点で「開花」させながら、どうか幸せな人生を歩んでいってください。

そして、できることなら、将来、岸和田市のために、ひいては日本や世界のために貢献できる立派な人物に成長されることを切に、願っております。

.....
次は4月8日(月)の始業式で会いましょう!!



桜
梅
桃
李